



さまざまな業種を経て、2018年に中村電設株式会社の一員となった野村哲弘。現在、現場の職人をサポートするスーパーサブ的な役割を担っているが、前職まで電気配線工事の経験は皆無だった。入社以来、スキルアップに励んできた野村の歩みを振り返った。

未経験からのスタート

転身のきっかけは、ハローワーク。何か手に職をつけるすべはないかと、資料を調べるうちに、ビルメンテナンス管理者を育成する講習の存在を知った。さっそく申し込み、第二種電気工事士の資格を取得。電気工事にかかわる求人を探していたとき、中村電設の存在を知り、採用に至った。

とはいえ、まったくの未経験で、新しい業界に飛び込むのは、かなり勇気が必要だったという。すでに50代になっていたことも不安要素だった。

実際、働き始めると、体力的にきついと感じる場面も少なくない。知識不足ゆえに立ち止まってしまうことも何度かあった。「このままではまずい」と焦り、一日でも早く戦力になるべく、必死で仕事を覚える努力を重ねたという。その様子を見て、周囲の社員たちも快く指導・助言をしてくれた。

「私は人に恵まれていました。皆さんの支えがあったからこそ、この仕事を続けていく覚悟ができたのです」。

先の先を見越して動く

現場では、指揮を執る上司の指示に従い、サポート役を担っている。だが、日によって作業内容が変わるため、臨機応変に動けるよう、常に「先回りして動く」ようにシミュレーションをするようになった。

「次の作業だけでなく、その次、さらに次の作業まで見越して段取りをする。そうすれば、指示待ちで手持無沙汰になることはありませんから」。

やりがいを感じるのは、「良い仕事できた」と実感できたときだ。初めて照明の電気工事をした日のことは、今も鮮明に覚えている。スイッチを切り替えた瞬間、パッと明るく灯った空間に、心からの安堵と達成感を得られたという。

「報・連・相」をためらわない

自身の力量を見極めて、けっして無理はしない。これは入社以来、野村が胸に刻んでいる心得だ。見栄を張ったり遠慮したりせず、判断に迷えば周囲に助けを求めている。

「わからないことは聞く。必要な部分は確認をする。知ったかぶりだけはしないようにしています。失敗もすぐに報告します。隠すと、後々さらに事態が悪化しかねませんからね」。

また、現場では予期せぬ依頼が飛び込んでくることも多い。作業中に追加で何かを頼まれたら、「できます」と答える前にいったん考える。目の前の作業で手一杯であれば、それを正直に伝え、「どちらを先に終わらせれば良いでしょうか」と判断を仰ぐようにしている。

優先順位を間違えず、適切かつスムーズに作業を進めるためにも、「報・連・相」は必須なのだ。

先輩たちの背中を追って

仕事上のこだわりは、最高のクオリティを目指すこと。クオリティを最優先としつつ、どこまでスピードを上げられるかをいつも考えている。その際、手本にしているのは、先輩社員の仕事ぶりだ。切断作業一つとっても、先輩たちは滑らかに工具を扱い、速く美しく仕上げていく。圧倒的な差を見せつけられるたびに、向上心を刺激される。

「配管1つ曲げるのも、私はその都度測っているのに、皆さんは手に触れた感じや見た目だけで判断できる。すごい、の一言です」。

現在、そうした先輩たちの技術を可能な限り言語化・数値化するべく、奮闘しているという野村。データがまとめれば、いずれは若手の育成にも役立つに違いない。

プライベートでは両親の介護を担い、自身も緊急入院を経験。困難な事情を抱える野村にとって、残業が少なく、休みを取りやすい中村電設は理想的な職場だ。周囲への感謝を胸に、会社へのさらなる貢献を目指して精進していく。



合格者の方に伺いました!

資格取得への道



取得した資格

「**第二種電気工事士**」



やまもと あつし
山本 篤司さん



「仕事の幅を広げたい」「より多くの知識を身につけたい」そう考えている皆さん!資格取得に挑戦してみませんか?今回は見事資格を取得された山本さんに、合格までの道のりや勉強法をうかがいました。資格に興味のある方も、そうでない方もぜひ一度取得までの道を覗いてみてください。



私の勉強方法

反復練習が合格への鍵!

勉強は試験の約半年前からスタート。仕事を終え帰宅してから毎日30分ほどの勉強を日課にしていました。参考書も使用しましたが、私が主に使っていたのは過去問。過去10年の間に出題された問題を5回ほど繰り返すことで試験対策を行っていました。勉強のこがけがあり、筆記試験は3年連続の合格。ただ資格取得までの道は険しく、実技試験は4回不合格となりました。実技試験は10種類のパターンの中から1種類が出題される形式。家ではもちろん、職場でも空いた時間を使って先輩に教えていただきながら、反復練習を行いました。念願かなって5回目で実技試験も合格。合格したときはとにかく嬉しかったことを覚えています。



資格を取得してからの変化

仕事の幅が広がり心にもゆとりが生まれた

資格を取得したことで仕事の幅が広がり、担当できる業務が増加。取得前は、資格を持っていないことへの焦りを感じることもあったため、様々な仕事を担当できるようになり、気持ちも前向きに、そして心にゆとりを持って業務に励むことができるようになりました。

今後の目標

「第一種電気工事士」の資格取得に向けて奮闘中!

現在は第二種の資格を持っていないと挑戦できない、第一種電気工事士の資格取得に向けて勉強中。ワンランク上のステージになるため、第二種に比べて難易度も上がります。すでに試験には挑戦し3回不合格……。これにめげず、今後も頑張りたいと思っています。そして第一種の資格を取得し、さらに仕事の幅を広げ様々な経験を積み、後輩への教育にも力を入れていきたいと考えています。

家族へのありがとう! 第2弾

5人の子どものお父さんとして、奥様とともに一家を支える辻野さん。賑やかな家族が笑顔でいられるのは、奥様の力が大きいと話します。

From

つじの たつま
辻野 竜馬さん

妻へ「ありがとう」を感じる瞬間

育児も仕事も頑張ってくれてありがとう!

高校1年を筆頭に、5人の子どもの子育てをしてくれている妻に「ありがとう」を伝えます! さっぱりした性格で泣き言を言いませんが、子育てのほか、ほぼ毎日夜勤の仕事を頑張ってくれていることに、心から感謝しています。最近は長男や次男が大きくなり、双子の面倒を見てくれるため、少し安心です。お兄ちゃんたちが優しく、面倒見良く育てくれたのも、妻を見習っているからでしょう。中村電設に就職して、晩ご飯やお弁当作りが私が担当するようになり、少しは助けになっていますか?息子たちに人気の肉料理ですが、妻にも喜んでもらっていたら嬉しく思います。今はすれ違いの時間がありますが、またゆっくり家族で過ごしたいと思っています。



妻へのメッセージ

Message...

いつも仕事しながら家事をしてくれてありがとうございます。お互い、病気や怪我に気をつけて、これからも家族仲良く、健康に過ごしていきましょう。

辻野家はこんな家族

高校1年(男)、中学1年(男)、小学3年(女)、保育園児2人(男女の双子)と私たち夫婦の7人家族です。ほぼ毎日、夜勤の妻が出勤する前に、家族全員で夕食タイム。この時間は一家が揃い、和気あいあいと色々なことを話して過ごせる、大切なひとときです。最近は長男・次男が大きくなり、双子の面倒を見てくれるなど、家族がお互いにサポートする、チームプレーが自慢の一家です。



夏のおすすめスポット

この夏におすすめするスポットをご紹介します。今回は、中村社長が5年前に訪れたという、京都の素敵な場所です!ぜひ、今年の夏に訪れてみては?

貴船神社

住所:京都府京都市左京区鞍馬貴船町180

貴船神社は万物の命の源である水の神を祀る、全国2000社を数える水神の総本宮。創建年代は極めて古く、その始まりは不詳ですが約1300年前の677年(白鳳6年)には、すでに社殿造替の記録があることから、日本でも指折りの古社に数えられています。

訪れた感想

駐車場から、神社まではずっと木陰があり、周囲の気温とは3~4℃低く、過ごしやすかったことが印象的です。横には貴船川が流れ、「涼」を感じながら、参道を歩くことができます。また、川床で名物の流しそうめんをいただきました。川のせせらぎを五感で感じながらの流しそうめんは恐らく過言ですが(笑)、過去一番の味でした。

